

免疫強化素材 メシマコブエキス末

メシマコブとは

メシマコブは、タバコウロコタケ科キコブタケ属のキノコで、学名はPhellinus Linteusです。和名のメシマコブは、長崎県の男女群島・女島(メシマ)で発見され、こぶ状に生えていたことに由来しています。

メシマコブは桑などに寄生して、その木の栄養を奪いながら扇状に育ちます。傘の直径が30cmになるまでに20~30年にかかるという稀少なキノコで、その外見はサルノコシカケによく似ています。

原産地は、日本、東南アジア、北アメリカなどですが、生育地が狭い範囲に限られ、温度・湿度・日当たりなどの環境が整わないと菌糸が育ちません。栽培や培養も難しいことから、長い間、幻のキノコとも呼ばれてきました。

しかし、韓国では特定の菌株を大量培養する技術が確立され、その中でも菌糸体(PL2,PL5)を培養して得たメシマ®が誕生しました。1993年には、メシマ®は抗ガン免疫増強剤の医薬品として認可され、多くの賞を受賞しました。

メシマコブエキス末はこのメシマ®を原料としています。



免疫システムの活性化

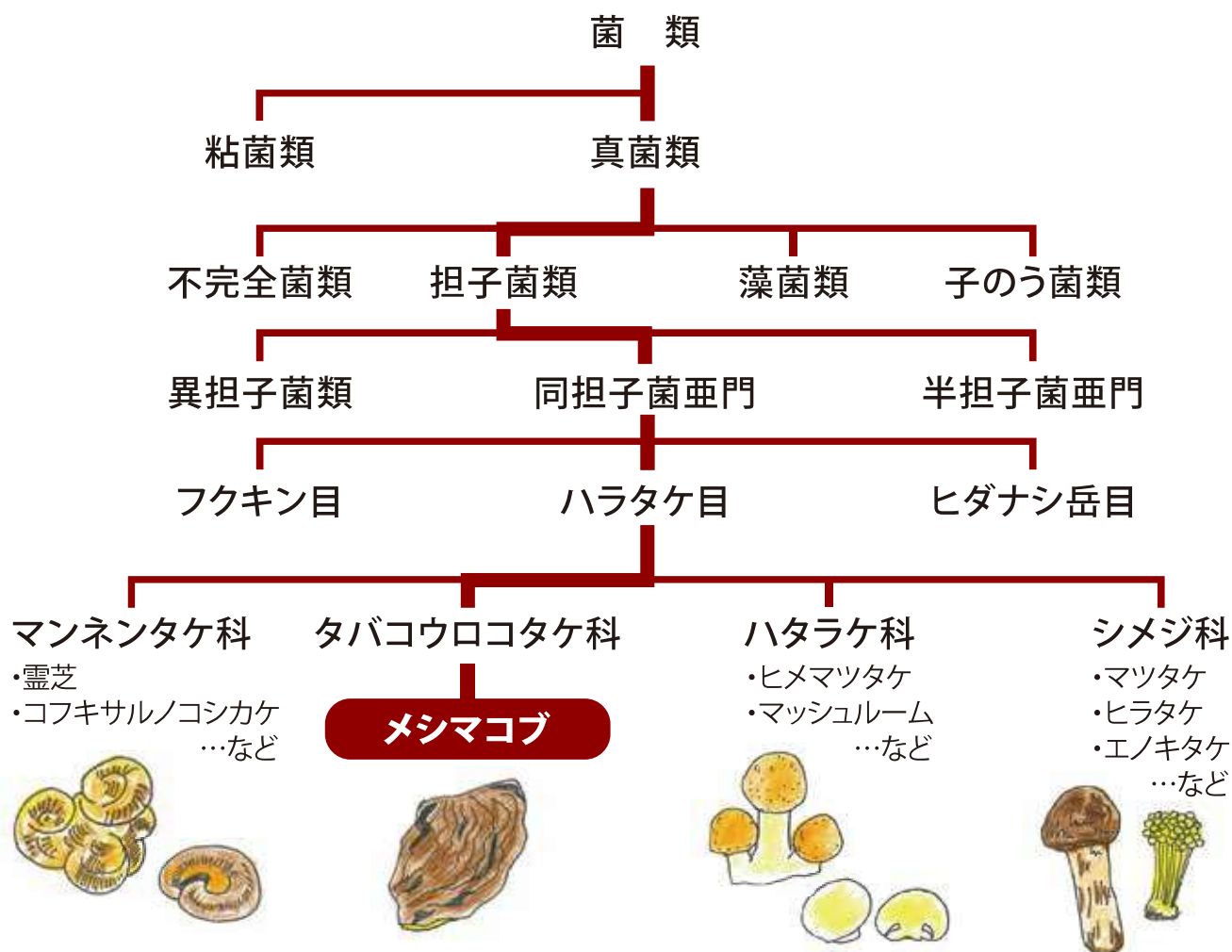
メシマ®は、マクロファージ、T細胞、B細胞などの免疫細胞を活性化します。これにより、がん細胞の増殖抑制効果や感染症に対する免疫効果について様々な研究がなされています。



天然のメシマコブ

メシマコブの生態

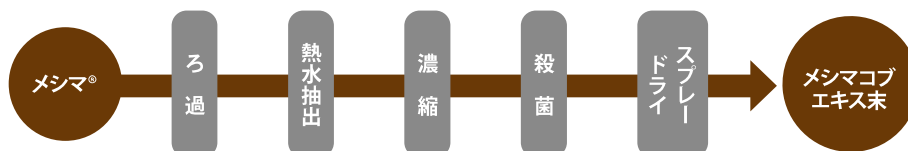
キノコの系統



製 品 名

メシマコブエキス末

製 造 工 程



起 源 原 料

メシマコブ

原材料表示例

メシマコブ菌糸体抽出物、乳糖、デキストリン

荷 姿

5kg

最終加工地

韓国

賞 味 期 限

3年

保 存 方 法

直射日光を避け常温で保存

規 格

α-メチル-D(+)-グルコシド 8.69%以上